

# 2026 年度 日本建築学会北陸支部大会 論文等募集要項

発表会日時 2026 年 7 月 12 日 (日)

会場 福井大学

## I 応募規定

### (1) 論文等の内容

- a. 応募する論文等の内容は未発表のもので、本会・北陸支部に相応しいものとして下さい。特に、学術、技術、芸術の観点から公平であり、かつ、倫理性を保つ内容であるように留意して下さい。
- b. 応募する論文等の発表分野は、建築に関する以下の 6 分野です。
  - ①研究論文
  - ②調査報告
  - ③技術報告
  - ④建築作品
  - ⑤トピックステーマ  
『能登半島地震・奥能登豪雨による北陸地域の被害の実態、復旧そして復興』
  - ⑥奨励研究成果報告
- c. ①研究論文、及び②調査報告は、一編ごとに完結した内容にして下さい。
- d. ③技術報告は、支部活動活性化の一環として、とりわけ実務者による技術報告の応募を期待しています。新技術の開発、設計や建設工事の記録、地域に根差した工法の工夫等についてご報告下さい。
- e. ④建築作品は、学生の設計作品（卒業設計や修士設計など）と実務者による一般作品（竣工済みの作品も含む。商業主義に偏ったものは避けて下さい）を指します。
- f. ⑤トピックステーマは、ひとつのテーマを横断的に扱うため、複数年に渡り継続するテーマとして定めています。2025～2026 年度は『能登半島地震・奥能登豪雨による北陸地域の被害の実態、復旧そして復興』※とします。

※令和 6 年元旦に発生した能登半島地震は輪島市・珠洲市を含む能登地域全体に甚大な被害をもたらしました。インフラの途絶が長期化するなど課題が山積していました。さらに同年 9 月に発生した奥能登豪雨による水害では仮設住宅が浸水するなど度重なる災害に被災者は苦しんでおられます。支部管内で発生したこれらの災害について、北陸地域の被害の実態、今なお途上にある復旧状況、将来に向けた復興のあり方に関する総合知を結集したいと考えています。

- g. 支部奨励研究を受けた方は、⑥奨励研究成果報告を必ず発表して下さい。
- h. 連続した発表内容の場合、個々の論文等にシリーズ名を副題として表示して下さい。

### (2) 応募資格

- a. 講演発表者は、本会個人会員であり、期限内に登録費を納入した方とします。応募時に入会手続を済ませた方も会員とみなします。

- b. 共著者は、会員外の方であっても発表登録費を納入することで登録が可能です。
- c. 論文等を応募された方および会員外共著者は発表登録費の納入が必要です。詳しくは[Ⅲ 登録・投稿要領]を参照してください。

### (3) 講演発表

- a. 論文等を応募された方は、必ず発表会に出席し講演発表を行って下さい。  
代理の講演発表は一切認められておりません。
- b. 論文等の発表は、投影機（プロジェクタ）を用いて行うことができます。会場に投影機を準備していますが、パソコンなどの操作機は各自でご持参下さい。なお、建築作品の発表についても論文等の発表と同様としますが、模型等の搬入搬出は、発表者本人の自己責任で行って下さい。模型等の送付は一切受け付けません。

※2026年度は対面での開催を予定していますが、コロナ感染状況、その他重大な影響を及ぼす事象が生じた場合には、オンライン開催へ変更する可能性があります。その場合、各プログラムへの参加にID/PSを発行しますので、発表者および聴講者ともに事前の登録が必要となります。詳しく（最新情報）は北陸支部HPをご確認ください。

### (4) 著作権

- a. 著者は、研究報告集に収録・掲載された論文等の著作権を本会・北陸支部に委託することとします。但し、第三者から文献等の複製・引用・転載に関する許諾の申請がある場合、本会・北陸支部は、原著者に連絡し、許諾の確認を行います。
- b. 著者が自分の論文を自らの用途のために使用することの制限はありません。なお、研究報告集に収録・掲載された論文等をそのまま他の著作物に転載する場合は、出版権に関わりますので、本会・北陸支部に申し出て下さい。
- c. 編集著作権は、本会・北陸支部に帰属するものとします。

### (5) 応募方法

- a. 原稿は[Ⅱ 原稿執筆要領]に従って作成してください。
- b. ホームページ上での発表登録および論文等原稿の投稿、ならびに発表登録費の支払いをもって応募とします。詳しくは[Ⅲ 登録・投稿要領]を参照してください。
- c. **投稿後の原稿などの差し替え（再投稿）は受け付けません。**

### (6) 応募期間

2026年1月26日（月）～3月19日（木）17時です。締切日に遅れた場合は一切受理しません。

### (7) 研究報告集

原稿は「日本建築学会北陸支部研究報告集第69号」として収録し、日本建築学会北陸支部HPにて支部大会終了後1年間に限定し公開します。閲覧に必要なPSは、論文投稿者に発行します。なお下記の研究報告集には残部がありますので有償で頒布します。

第39～42号	1部	3,850円（税込）	（冊子版）
第43号	残部	なし	
第44～55号	1部	4,400円（税込）	（冊子版）
第56～67号	1部	3,300円（税込）	（CD-ROM）

※CD版の発行は67号で終了しました。

(8) 若手プレゼンテーション賞への応募のお願い

北陸支部大会では、大会開催年度末時点で満 30 歳以下の会員による優秀な研究発表に対して、「若手優秀プレゼンテーション賞」の審査・表彰を行っております。該当する会員はふるってご応募下さい。

「若手優秀プレゼンテーション賞」への応募を希望する場合、支部大会ホームページ内の「論文等募集要項」から「若手優秀プレゼンテーション賞実施要領」及び「若手優秀プレゼンテーション賞評価基準」をダウンロードして、ご参照の上、電子投稿フォームの指示に従って生年月日をご入力下さい。

(9) その他

この論文等募集要項に著しくそぐわない応募論文等は、「日本建築学会北陸支部研究報告集」に掲載されない場合があります。

## II 原稿執筆要領

- (1) 論文等原稿は聴講者に内容を徹底させ、あわせて講演時間を短くし、プレゼンテーション資料等の節約をはかり、かつ来聴できない会員にもその内容を速報するために作成するものです。
- (2) 作業の合理化、ミスプリント防止のため、応募者が作成した原稿をそのまま報告集として収録します。事務局・実行委員会などで、校正等は一切いたしません。PDF 変換時の文字化けやデータの不具合が無いことを、投稿前に必ず確認し投稿してください。
- (3) 原稿は 1 題 2～4 頁以内とします。図・写真などはカラーを使うことができます。原稿は下記に基づいて作成してください。
  - a. 本文は横書き 2 段組とし、ワープロソフト等で上マージン 25mm、下マージン 22mm、左右マージン 15mm、1 段を 87mm (段の間隔 6mm)、1 頁あたり 48 行、1 段あたり 25 文字を基準 (文字の大きさ 9.5 ポイント相当) として設定してください。
  - b. 原稿用紙 1 頁目は支部大会ホームページ内の「論文・作品の募集要領」→「関連書類のダウンロード」→「論文フォーマット」を参照し、発表部門、表題、発表者名、キーワード、本文、所属・肩書を記入してください。なお、他の頁も含め、執筆全般に際しては、「論文フォーマット」をよく参照してください。
  - c. 実務者による技術報告および建築作品については、1 頁目を除いて書式も自由としますが、余白 (マージン) 内におさめてください。
  - d. 和文は JIS 第一水準、第二水準の漢字を使用してください。本文書体については、和文は明朝体、欧文は Times New Roman を推奨します。
  - e. PDF ファイルを作成する際、文字は全て埋め込み (エンベット) を行ってください。サブセットで結構です。
  - f. 図表および写真は、原稿に貼り付けた状態で PDF 化し、別ファイルにはしないでください。また、写真 (画像) は PDF 化することにより、出力品質が劣化することがあります。ファイルサイズの制限内 (4MB 以下) で解像度の値を高く設定してください。

## III 登録・投稿要領

- (1) 下記の URL から電子投稿フォームの指示に従って登録および原稿提出をして下さい。会員番号

は、番号申請中の方は 0000000 を入力、会員外共著者は不要です。

電子投稿フォーム < <https://aij-hokuriku.com/form> >

- (2) 原稿ファイルは PDF ファイルとし、ファイルサイズは 4MB 以下として下さい。
- (3) 原稿ファイル名は「発表分野-部門-細分類-発表者会員番号-投稿数.pdf」とします。
  - a. 「発表分野」は次の 1～6 の番号とします。1 研究論文、2 調査報告、3 技術報告、4 建築作品、5 トピックステーマ、6 奨励研究成果報告。
  - b. 「部門」と「細分類」は、支部大会ホームページ内の[論文等募集要項]から[発表希望部門・細分類・細々分類]をダウンロードして参照して下さい。
  - c. 「投稿数」は、連続投稿がある場合、番号を 01、02、…とし、無い場合は 00 として下さい。
  - d. (例) 発表分野 1、部門 2、細分類 3、会員番号 12345678、連続投稿なし、の場合  
→ 原稿ファイル名：「1-2-3-12345678-00.pdf」
- (4) 登録・投稿期限：2026 年 3 月 19 日（木）17 時。  
遅れた場合は一切受理しません。  
締切後の原稿の訂正は一切認められておりません。
- (5) 発表登録費：講演発表者は 1 編につき 4,400 円（税込）（実務者による技術報告、トピックステーマ、建築作品については 2,200 円（税込））の発表登録費を銀行振込みで登録・投稿期限までにご入金下さい。会員外の方が共著者として名を連ねる場合は、追加で別途、会員外の方 1 名につき発表登録費 4,400 円（税込）（実務者による技術報告、トピックステーマ、建築作品については 2,200 円（税込））が必要です。振込人名は、会員番号と発表者氏名を「12345678 ホクリクタロウ」のように記載して下さい。

[振込先] 北陸銀行金沢支店 普通口座 No.4309030  
口座名義 (一社)日本建築学会北陸支部

振込手数料は実費負担でお願いします。

銀行振込以外の入金を受付けできません（支部大会当日の現金支払いは受付けできません）。なお、公費払い（事務局からの請求書送付を必要とする場合）を希望する場合は予め事務局へご相談下さい。（TEL：076-220-5566、e-mail：[aij-h@p2222.nsk.ne.jp](mailto:aij-h@p2222.nsk.ne.jp)）

〈請求書電子化移行に関するお願い〉

2024 年度より、学会ではペーパーレス化の推進や生産性向上のために納品書・請求書の発行を電子請求書システムにて実施させていただくことになりました。公費払いをご希望される方におかれましては、メールにて請求書をご案内させていただいております。

何卒ご理解ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

以上